

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科3年制	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	視能検査学総合実習 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1)
対 象 学 年	2年	学期及び曜時限	前期 月曜3限	教室名	1002 他
担 当 教 員	中西 令子				
実務経験と その関連資格	視能訓練士として、総合病院で視能検査及び訓練に14年間従事した。				
《授業科目における学習内容》					
グループワークを通じて、チーム医療の重要性を体感するとともに、視能訓練士の仕事の全体像を学びます。他職種の仕事内容が説明でき、他職種連携において視能訓練士の視点から提案ができるようになります。					
《成績評価の方法と基準》					
レポート試験80%、平常点(出席率)20%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
グループワークに必要な書籍					
《授業外における学習方法》					
授業終了時に示す予習課題を実施すること					
《履修に当たっての留意点》					
チーム医療はますます重要となります。チーム医療論を通して、様々な角度から考えることができるようになるため、事前課題にしっかり取り組むこと、積極的に授業に参加することを期待します。					
授業の 方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	チーム医療とは何かを理解する	特になし	視能訓練士業務内容の復習	
	各コマに おける 授業予定	ガイダンス、チーム医療とは、またその意義について			
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	視能訓練士の業務内容を理解する	視能学第3版	視能訓練士業務内容の復習	
	各コマに おける 授業予定	視能訓練士紹介シートの作成			
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	興味ある分野について説明できる	視能学第3版	視能訓練士業務内容の復習	
	各コマに おける 授業予定	視能訓練士の仕事、興味ある分野についてのプレゼンテーション			
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	作業療法士の業務内容を理解する	特になし	作業療法士について予習	
	各コマに おける 授業予定	作業療法士とその仕事			
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	理学療法士の業務内容を理解する	特になし	理学療法士について予習	
	各コマに おける 授業予定	理学療法士とその仕事			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	言語聴覚士の業務内容を理解する	特になし	言語聴覚士について予習
	各コマにおける授業予定	言語聴覚士とその仕事		
第7回	授業を通じての到達目標	看護師の業務内容を理解する	特になし	看護師について予習
	各コマにおける授業予定	看護師とその仕事		
第8回	授業を通じての到達目標	診療情報管理士、社会福祉士の業務内容を理解する	特になし	診療情報管理士、社会福祉士について予習
	各コマにおける授業予定	診療情報管理士、社会福祉士とその仕事		
第9回	授業を通じての到達目標	患者へのサポート内容を討論できる	各自必要と考える教書	事前課題、事後課題の実施
	各コマにおける授業予定	チーム医療論課題探求		
第10回	授業を通じての到達目標	チーム医療への関わり方を述べることができる	各自必要と考える教書	事後課題の実施
	各コマにおける授業予定	他学科合同授業に向けて資料作成①		
第11回	授業を通じての到達目標	チーム医療への関わり方を述べることができる	各自必要と考える教書	今までの資料の復習
	各コマにおける授業予定	他学科合同授業に向けて資料作成②		
第12回	授業を通じての到達目標	各職種の強み・弱みを述べることができる	各自必要と考える教書	事前課題の実施
	各コマにおける授業予定	チーム医療演習①		
第13回	授業を通じての到達目標	視能訓練士のサポート内容を説明できる	各自必要と考える教書	事前課題、事後課題の実施
	各コマにおける授業予定	チーム医療演習②		
第14回	授業を通じての到達目標	チーム医療の必要性を述べる①	各自必要と考える教書	事前課題、事後課題の実施
	各コマにおける授業予定	チーム医療演習③		
第15回	授業を通じての到達目標	チーム医療の必要性を述べる②	各自必要と考える教書	事前課題、事後課題の実施
	各コマにおける授業予定	チーム医療演習④		